

オレ／＼を結んで、長い期間にツキ付先程申し上げましたように長い期間に付、と思ふすが、五十年という契約でも、さらにこれを更新し、三回と思ふ、おの次第でございます。

一土着(神野藤操)三件にツキ付た、その間説明わかりました、しかし銀行から一時借り、地主に支払、その後建設公社の方から金も、その一定期間に払うのだと思ふ、すすめ、その権利は建設公社の方でも、ツキ付、そのか、どう、どう、ないわけ、あります。買売の時に、仮に坪三千円、買った、しかし、その金を借り、買った、だから、権利は、払、ツキ付、た、す、その、ツキ付、三千五百に、建設公社、三千五百、買、ツキ付、その、その、其を明確に、し、ただ、だ、と思、す。

一助役(川窪金吉)オレ、オレに、オレ、オレも、買、付、けた、時から、私も、所有、にな、り、わけ、なり、から、金を、払、ツキ付、その、その、思、います。

一土着(神野藤操)私の、用、その、け、り、り、意味、は、な、く、土地を、買、う、の、に、その、し、

銀行から金を借り、その間利息がつくわけ、あります、すが、その土地を建設公社に、名、を、買、った、値段、は、権利も、その、か、この、こと、です。

一助役(川窪金吉)最初、買った、時から、公社に、渡、す、間、だ、と思、います、が、然、し、れ、は、農地、転、用、が、その、契約、を、申し、上、げた、時、が、その、土地を、買、った、という、契約、が、その、わけ、な、り、オ、レ、イ、利息、という、もの、は、所、買、担、下、公社に、渡、す、間、だ、思、います、と、いう、こと、で、思、います。

(神野藤操)より、了解、あり、

一議長(高橋千春)ほかに、質疑、す、ご、う、す、で、な、か、

(異議、なし、と、思、ふ、者、あり、)

一議長(高橋千春)それ、に、質疑、す、終、結、し、た、し、オ、レ、は、

一議長(高橋千春)お、け、り、し、た、し、す、が、議、案、が、五、十、年、の、期、間、満、了、す、方、に、即、ち、異、議、あ、

り、ま、す、な、か、

(異議、なし、と、思、ふ、者、あり、)

一、裁長（高橋）平君。即異議ナシと認めます。さう、紙幣が九七五万枚流通し、時、一、二、三、

一 祇長(高橋)才三ノ平俊ノ時才ノ休題シテノ間查展ニシテ、と思、ますか、三ノ節

(男戒)と云ふ者あり

一、議長高橋平君御異議なしとの御申渡後、時来下休題にいたします。

休遊午後十二時五十分

補氣午後一時。分。

職長(商標)平水起前に引く線を度取を用います。

一 議長(高橋平吉) 目録才十二頁附受領にツキ議案才九十三号を議題に供します。事務局を
シテ議案の朗読をいたします。

一、張金事務局(狀) 正吹郎朗詠

議長(高橋) 子春 理事者より提案理由の説明を求めます。

福生町議会

一、助役(川窪金吉)紙架才九十三号寄附受領に付、同説明申し上げます。其の二と三とあり
りませしものとして田村才十郎さんが出された寄附受領もござい、ますか別表に
あります通り才三十三番地から才三十二番地の所へあります。又、永井従末町道とし
てすべに交通をしえおろさうなございますし第一小学校の西側から北側を通ります
し補助道三号線に出るわけであり、ますか又三に万福というバス屋がありますし
それから北に行きませし福生~~森~~^森からの遊樂に行く道にぶつかつたわけであり、ます。交通の上
からいひませしもう道中は狭いが今後非常に便利になるのにはやがてあらうかと存じます
通つておろすとこのバジ、ますか非常は利用価値のある所であり、ますかの受領
いたしましたと考えようであります。延長は七十五米、面積は三百六十六平方米、大十一、五元
坪になつたわけがあります。そのバジ、ますかこれは中級の清水又々さんからの新
財バジ、ますか補助道三号線を昭和十五年に造つたわけですが、その時に補助
道三号線の中にあつたわけバジ、ますか。それから今日まで登記されてゐるわけに
なり、三とバジに改め、一新財受領として出しておろしたわけであり、ますし、理由は

為今訂正

あつたわけですが本日までの申しあげたことについてお認めが申し上げます。二つも町道にしたいと考えてあります。中学校の田圃になつたわけがありまして六百五十五平方メートルの面積を補助道に認定してあげたいとあります。そのと同様に交通量の頻繁なところでもありますので二つとも受領した、と思つていふわけがあります。

一議長(高橋千春) それより質疑を行います。

(異議なしと仰る者あり)

一議長(高橋千春) それより質疑を終結いたします。

一議長(高橋千春) あつたわけですが、議案第九十五号は原案通り決す方に御異議ありませんか。

(異議なしと仰る者あり)

一議長(高橋千春) 御異議なしと認めます。よつて議案第九十五号は原案通り可決いたしました。

一議長(高橋千春) 日程第九十四号道路線の決定について議案第九十四号を議題に供します。事務局をしい議案の朗読をいたします。

一議会事務局(秋正次郎)朗読

一議長(高橋千春) 理事者から提案理由の説明を求めます。

一助役(川端金造) 議案第九十四号道路線の決定について御説明申し上げます。ただいま議案第九十五号は御議決したわけですが、田村市十部町から出された第九十五番から第九十六番の一号の新附道でございますが、これを町道として認定したいと思つております。そのよりよく願ひいたします。

一議長(高橋千春) それより質疑を行います。

(異議なしと仰る者あり)

一議長(高橋千春) それより質疑を終結いたします。

一議長(高橋千春) あつたわけですが、議案第九十四号は原案通り決す方に御異議ありませんか。

一、張長（高橋）千春、御墨紙、カレシ紙、用寸、 5×7 、張、栗用九十四号寸、栗栗、桶、リ、研、破、シ、亡

一、議長高橋千春次に日程第十四町道路線の廃止に付、議案第九十五号議題に供します。

議會事務局 改正 郎朗

一、助成川程（金吉）議策が九十町所道路の廢止にツイ即說明申し上げます。その内

福生町議会

一議改商標于春三以予質疑進行、才才。

一 工費火入保一即百五十万の磨止にフイニおりに財庫レイ建設委員会の時に出意見
を申し上げたのフイがいますが大の後の経過はどのようなフイかお伺い
いたします。

一助、彼川窪を途中学校前の通りトシ、オレイカの当時中学校に入らば三号線からこの道路を使ったのではありませんが非常に古い記録をたどるわけでもない、わけありオレイカも廃止になったのか新設になったのかという事もあり、建設委員会でもう一つ御指摘があったんですが、今回これを廃止するにあたりオレイカ百八十二の五に山崎さんという方がいたのですが、それから補助道三号線に入る百五十号線トシ、オレイカすべを振りにしたらどうか、これもありオレイカ百六十七と関連性をもつ交差点レイアウトの話があつたわけがあります。私も力の候補水さんと合ふ話があり、オレイカすが私の方とレイモット利用価値の多い私道を造りたいと思ひ、しかしおれは中々人だと町の計画をオレイカと受けわけに付かない、というように話が二重三重なり、オレイカにも先程の廃道についてオレイカ決定したダマレイカでもレイカ払い下げの後端に上にあるオレイカ折衝を重ねたいと思ひ、とかよりにオレイカあり次第トシ、オレイカ。

福生町議会

三ノイサガ／＼ニ示す九十五号議案をレ出されイありますのハ決定した上イわけ
 めれとレイけ何も言ひ三ノイサガないわけイあり私どもが當時急造線の振興とこの時に
 どういふうが経過をたどつたかイモウ一つイ中学校の正門に入る道路がどのようが経過
 をたどつて決定されたかといふ点がよりすいやく審議すべきわけイすが町道とし
 て議案が決定するかに清水さんの御説明が得られなわけイ町道として決定すべし
 かつたと思ふます。スウイ夫が経過がわかりませんと云ひ議員は何レいへんだ
 と云われイも困りますのハ二の夫の説明をぜひ頼んだと思ふます。

一 助役(川理金造)三の問題に「フ」は建設者資の時にも私にも申し上げましたか、フよりれた
録か、のイ確たる三を申し上げられ、のイすか先般補水さんとも話し合つた
ところにより、まず最初に補助多額、その間にあり百四十九号と百五十一号に
「フ」交換願した、という話しであつたのイすが、しかしまだ登記がされ、ない、のイ
あり、そのにも学校に通ずる道路が必要になつたと、僕も金けい、から、から両方
を新財すか、このイ百四十九と百五十一をくれか、という交換を話し合、か、イ、また

前を八木道路を作ったと云ふ買収の地に於てのが常識だと思ひます。しかし、
ながら清水さん、一畝も土地代付と云ふ、いいと契約した道路は、そのうち作られ
ましたと云ふ。清水さん、そのうち作らるるを、受け入れてたわけ、ありません。
そのうち、面の措置に、対して、八木保議の、言われるように、十分な調査を、し、納得
のいくす、つた、りした、線が出ない、ことに、措置が、と、な、る、い、の、い、わ、れ、れ、も、い、や、に、し、解
決する、か、と、苦、考、した、わけ、で、し、た、実、情、と、措置に、ふ、つ、た、か、と、云、う、三、と、か、す、に、決、定、し
て、あり、ます、踏、切、の、位置、が、変、り、す、の、正、則、を、さ、り、か、え、ず、し、熊、川、の、方、か、ら、進、路
する、見、意、に、は、東、側、の、踏、切、り、を、破、ら、ぬ、中、学、の、正、則、を、め、た、し、新、道、を、作、り、つ、つ、あ
る、わけ、で、す、が、福、生、地、区、か、ら、くる、見、意、に、は、鉄、道、の、必、經、の、道、を、通、り、大、二、の、道、も、い、ま、だ
け、よ、く、し、て、い、か、な、け、れ、ば、な、ら、な、い、と、云、う、三、と、い、現、在、の、正、則、前、の、道、路、は、踏、切、り、が、廢、止、に
な、り、ます、ゆ、え、に、道、路、を、廢、止、す、の、わけ、で、あり、ます。オ、ウ、い、う、面、か、ら、い、う、い、う、時、の、実
情、を、調、査、を、し、な、が、ら、い、う、した、措置に、ふ、つ、つ、た、わけ、で、あり、ます。す、で、に、建、設、委
員、会、で、即、決、討、た、だ、し、て、い、お、か、な、い、も、つ、ま、す。さ、か、ら、い、う、意、味、不、明、な、決、議、に

解決したと云ふ、と云ふ、い、あります。

一、八木(神部藤操)三、の、問題、に、つ、いて、建、設、委、員、会、で、審、議、さ、れ、い、お、か、な、い、す、が、三、に、つ、いて、私、も
八木保議員と同じく、す、が、都、道、三、号、線、に、か、か、り、道、を、廢、止、し、て、五、三、カ、と、云、う、三、を、開、く、
あります、が、百、五、十、十、号、が、今、日、廢、道、に、な、り、い、か、な、い、三、を、作、り、い、れ、を、約、束、した、の、で、ど、う
か、と、云、う、三、を、開、く、と、思、い、ます、が、百、五、十、十、号、線、の、問題、に、つ、いて、い、や、り、も、り、し、た、後
討、す、べ、き、だ、と、云、う、三、を、再、に、審、議、さ、れ、た、わけ、で、あり、ます、が、理、事、者、の、者、か、ら、の、異
議、に、従、つ、て、三、の、異、議、に、つ、いて、い、や、り、を、得、な、い、と、云、う、話、を、聞、いた、時、に、は、三、に、か、め、る
べ、き、もの、を、作、つ、て、い、は、し、と、三、の、隣、に、三、を、新、住、人、の、い、か、な、い、と、云、う、に、三、道、が、あ、る、わけ、で、
す、が、最初、は、九、八、十、十、号、線、か、ら、最、低、四、米、の、道、路、を、作、つ、て、今、後、の、住、民、の、保、護、に、大
災害、の、場合、車、が、入、ら、な、い、と、困、り、と、云、う、の、三、の、問題、だ、け、を、解、決、し、て、い、や、り、し、た、
ら、な、い、か、と、云、う、三、を、も、教、決、め、ら、れ、た、と、思、い、ます、が、今、日、三、の、問題、に、つ、いて、出、て、い、な
い、八木保議員から出されたと思ひます。理事者は、登記もして、い、や、り、な、い、の、三、を、
是、り、す、か、ら、即、ち、三、に、行、つ、て、い、し、て、い、や、り、三、の、条件、が、死、ん、ど、し、て、い、や、り、三、に、つ、いて

け、大々係議員と同レバあります。三つ、二がけ、三と理事長が約束けたら、私にけ、三つだと思、ます。しかしあと一あの時、三つ、五を得たか、三つ、五を言、オアされたの、け、磨道を認めるわけには、い、か、ない。別に、い、又、まに、け、なら、ない、の、レ、アの、オ、オ、ア、い、三つ、この問題が解決し、から、磨道に、レ、イも、け、三つだと思、います。その、奥の、け、多、りした、案をも、う一度、明確に、回答を、功願、したい、と思、います。

一、町長（瀬古清蔵）お祝の通り、レ、ミ、ダ、ン、です。その、線に向、フ、イ、ウ、ウ、な、ことを、考えながら、解決措置を、考、え、先程、申し上げました、ように、紙体に、清水さんの、土地、レ、あり、ます。その、使、フ、い、あ、と、レ、ど、り、ウ、ふ、りに、使用、する、か、れ、れ、によ、る、適、当、な、こ、ろ、に、道路を作りたい、とい、う、清水さんの、希望、レ、す、から、九、八、道路、こ、りの、け、山崎さん、一軒が、出入、する、ため、に、三、号線、から、横の、線、ま、い、と、フ、い、あり、その、後、清水さん、は、適、当、に、道路、作、作、か、から、限定、し、て、い、く、れ、と、り、希望、レ、あります。その、レ、み、だけ、け、又、むを得、ない、の、周、辺、に、他の、人の、私、有、地、が、ある、と、す、か、なら、ば、もち、ろ、ん、け、り、ウ、方、と、十分、相談、し、断、れ、し、ても、三、の、切、が、良、い、とい、う、所、に、道路、を作、フ、い、あ、く、三、と、け、も、又、も、妥、當、な、ミ、ト、ミ、ダ、ン、です。が、レ、ウ、レ、や、く、

福生町議会

体助に清水さんの土地がありますので自分使用する面にあつて必ず道路を
 作るということがあります。

一十番(神野藤操)即ちこの道だと思ふ、まずが三ッ峠から現在天久位の道路に二軒あると
 ころにわがわが道を残しあり、町道です、から少なくとも縫綴、このわけ何やえに道
 路を残したか、この二で、次に二軒の住民があるために残したものであらう、たゞ之は壁
 収束の所が入れ、この状態に二の事が入れ、るやうにしたらどうか、この三ッ峠あります、
 不、土地もあり、まずい、折々、さあ家も建つと思ふ、まずこの町道として、四米道路に
 なつた、レイ、お、い、い、この二を、森の中に、二、前に、た、あ、さ、つ、がある、なら、夏、天
 十ッ峠を、鹿道、レイ、お、返、す、り、の、も、た、む、を、得、な、い、あ、り、う、と、取、け、る、二、あ、る、の、二、ッ、さ
 ます。

一十番 大久保一郎 神野藤蔵 議員さんご意見は同じですが、百五十万圓で、この意味は、
さうか、道路が、つたて、うそ、で、つた、地主の了解、又、議決も、され、うそ、で、つた、と思、い、ま
すが、買、う、約束、もし、あ、た、た、ら、ば、当然、金、を、払、わ、な、け、れ、ま、す、
い、か、
かり、う、約束、もし、し、